

平成
29
年度

富
山
県
税
務
統
計
書

平成 29 年度

富山県税務統計書



富
山
県

富山県経営管理部税務課

は じ め に

平成29年度の本県経済については、海外経済の不確実性の高まりなどの影響から、一部に改善の遅れがみられたものの、緩やかに回復しており、個人消費や生産も持ち直し、緩やかに増加している動きがみられました。雇用情勢は、着実に改善しています。

本県の平成29年度県税収入決算額は、こうした情勢を反映し、1,392億2百万円となり、平成28年度決算額に対して▲0.4%、▲5億61百万円と減少となりました。

これを税目別（現年課税分）に見ると、法人関係二税は、一定の業種において企業収益の向上がみられるものの、平成29年3月期の円高等を受けた業績の伸び悩みによる影響等により、対前年度決算比▲2.3%、▲7億67百万円となりました。個人県民税は、給与所得の増加や就労が進んだ結果、納税義務者数の増等により、+0.7%の増収となりました。このほか、地方消費税は、実質的な税収が+0.7%、軽油引取税は軽油販売量の増加により、+3.1%、自動車取得税は新車販売台数の増による課税台数の増加等により、+29.5%の増収となりました。

また、徴収部門においては、現年課税分における県税全体の収入率が99.3%と前年度と同じとなりました。主要税目である個人県民税では+0.2ポイント上昇、自動車税では+0.1ポイント上昇となりました（個人県民税98.9%、自動車税99.8%）。県税全体の現年課税分・滞納繰越分を合わせた収入率については、98.2%と+0.2ポイント上昇しました。

本書は、平成29年度の県税決算額を中心に、県税に関する各種資料を収集したものであり、関係各位には、県税についてのご理解の一助として本書をご活用いただければ幸いです。

平成30年12月

富山県経営管理部税務課長 鷲本 洋一